



奏 浴衣をまとった室根中吹奏楽部員が高らかに演奏した(むろね夏まつり・7月30日)

華 色鮮やかで華麗な山車が通りを埋めた(せんまや夏まつり・7月29日)



駆 成人式を控えた若者たちが大だるまをかつぎ、縦横無尽に駆け回った(大原だるま祭り・8月15日)

合併後初めての夏
一関は祭りの季節を迎えました
懐かしい顔がそろい
いつもの笑顔が集った祭り
思い出してください
心躍る風景を
心弾む音色を

いちらのせき

夏のまつり



灯 水晶の六角形をかたどったあんどん400個の灯し火が、「蔵まち通り」をほのかに照らした(摺沢水晶あんどん祭り・8月13日)



跳 縄跳び大会参加者は心一つに笑顔で飛び跳ねた(むろね夏まつり・7月30日)



躍 よさこいの踊り手は「ソイヤ」の掛け声で躍動した(花泉夏まつり・8月19日)

搗 15団体がきねを振り上げ、工夫を凝らしたもちを搗き上げた(花泉夏まつり・8月20日)



継 子どもたちが継承する郷土芸能を演じた(せんまや夏まつり・7月29日)



郷音 二代目時の太鼓大巡行は青空高く響き渡った(一関夏まつり・8月5日)

熱 1010人・8団体が参加した大いちらのせきみ奥祭。担ぎ手の熱気が夏の暑さを吹き飛ばした(一関夏まつり・8月6日)



焦 手筒煙火が吹き上げる火の粉は夜空を焦がした(一関夏まつり・8月6日)